

「公共施設マネジメント情報紙ぷらっと第5号」の発行について

2018年6月に策定した「みんなで描こう より良いかたち 町田市公共施設再編計画」に基づき、再編の取組を進めています。

公共施設の現状や再編の意義、取組などについて、より多くの皆様に興味、関心を持っていただくため、2020年7月1日に、「公共施設マネジメント情報紙ぷらっと第5号」を発行します。公共施設の複合化の検討状況や今後の予定、短期再編プログラムの取組状況などを掲載しています。

これからも、市民や事業者の皆様と情報を共有し、十分に対話を行い、皆様からアイデアを伺いながら、「公共施設・公共空間のより良いかたち」の実現を目指します。

1. 発行の経過

2018年

3月1日 情報紙ぷらっと第1号発行（主な内容：再編計画案に対するご意見募集の周知）

8月1日 情報紙ぷらっと第2号発行（主な内容：再編計画策定）

2019年

7月1日 情報紙ぷらっと第3号発行（主な内容：2018年度短期再編プログラム取組状況、町田駅周辺の公共施設の複合化検討を始めました！）

2020年

2月11日 みんなのアイデアブックー町田市の公共施設再編についてー配布開始

3月15日 情報紙ぷらっと第4号発行（主な内容：「知ろう！考えよう！公共施設のより良いかたち」の開催結果）



第1号



第2号



第3号



みんなの
アイデアブック



第4号

2. 情報紙ぷらっと第5号*資料1

- 発行日：7月1日新聞折込みにて約10万部配布
- 紙面構成

1面：表紙（町田駅周辺の鳥瞰図）

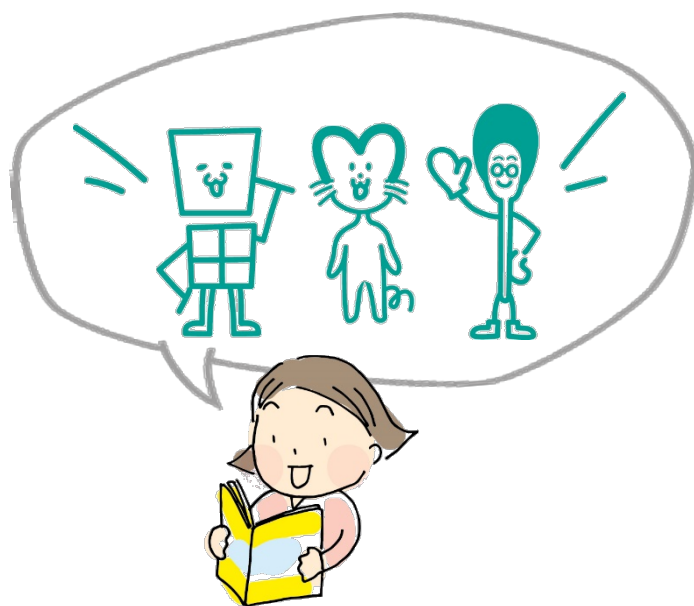
2面、3面：公共施設の複合化を考えよう、健康福祉会館・保健所中町庁舎の集約・建替え検討、教育センターの複合化・建替え検討、今後の予定

4面：短期再編プログラムの取組状況



3. 公共施設の複合化に関するアンケート（案）*資料2

- 回答方法（予定日程）
 - ① 地域センターまつり、まちカフェ！の出展ブースに来場（9月19日～12月6日）
 - ② ホームページからダウンロードしてメールで送付（7月1日～12月6日）
 - ③ 市政モニターアンケート（8月頃）
- アンケート内容
 - （1）町田市の公共施設の課題や再編の取組みについて
 - （2）周知・宣伝活動について
 - （3）意見収集方法について
 - （4）町田駅周辺の利用状況について
 - （5）健康福祉会館・保健所中町庁舎の集約・建替え候補地について
 - （6）健康福祉会館・保健所中町庁舎との複合サービス・機能について
 - （7）町田駅周辺から移転してもよい公共サービスについて
 - （8）民間と連携して教育センターを建替えることについて
 - （9）ご意見自由記入
 - （10）回答していただくあなた自身について
- 公共施設見直し（再編）キャラクターの名前を募集！



みんなで作る 未来の場 かたち ぷらっと

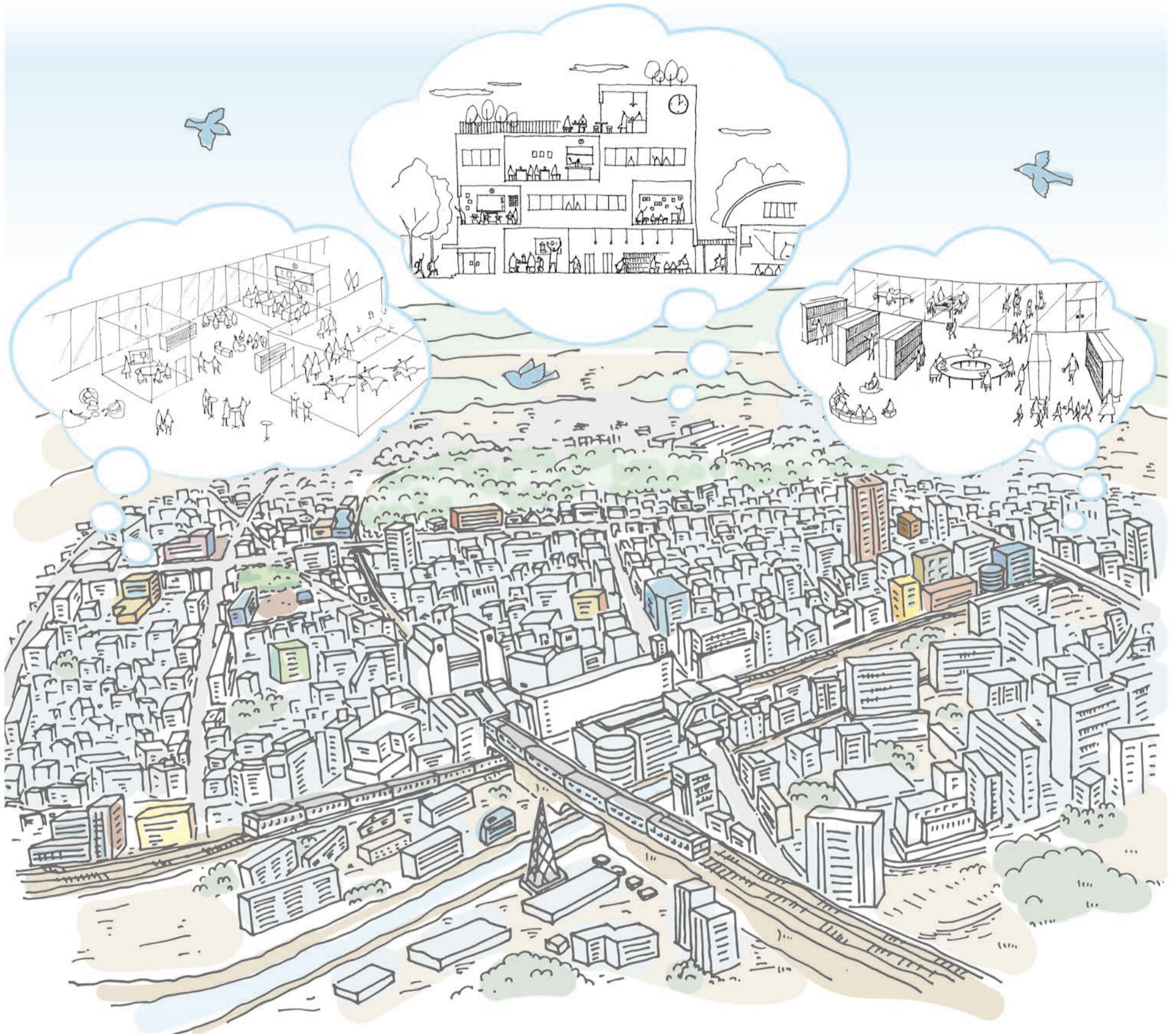
2020年
7月1日号
Vol. 5



発行:町田市 編集:政策経営部企画政策課
〒194-8520 東京都町田市森野2-2-22
TEL 042-724-2103 FAX 050-3085-3082

公共施設マネジメントに関する詳しい情報は
町田市ホームページをご覧ください。

「ぷらっと」には、ぷらっと誰でも気軽に立ち寄れるという意味と、みんなが集い交流するプラットフォームという意味を込めました。本紙は不定期発行です。



将来を見据えた公共施設の理想的な姿を みんなで描きましょう

町田市では、公共施設の老朽化や厳しい財政状況を見通し、必要な公共サービスを将来にわたって維持していくため、2018年6月に「みんなで描こう より良いかたち 町田市公共施設再編計画」を策定し、公共施設の再編に向けた取り組みを進めています。

2020年度は公共施設の再編について、具体的な検討を行っています。検討にあたっては、市民や民間事業者の皆さんと情報を共有し、十分に対話を行い、皆さんからアイデアを伺いながら「公共施設・公共空間のより良いかたち」の実現を目指します。

公共施設の複合化を考えよう

2018年6月に策定した「みんなで描こう より良いかたち 町田市公共施設再編計画」に基づき、公共施設の複合化*の検討を進めています。たくさんある公共施設のうち、まずは、多くの老朽化してきた公共施設が点在する町田駅周辺をとりあげ、特に建物が古く、早期に検討が必要な保健所中町庁舎と、同じ保健機能である健康福祉会館の集約・建替えにあわせてその他の地域の公共施設では、教育センターの建替えについて考えていきます。

公共施設を考えたときの4つの基本方針

- ①建物の総量を減らす。
- ②建物にかかるコストを減らす。
- ③市民、民間事業者、他自治体など様々な主体と連携する。
- ④既存の施設や土地を有効活用する。

民間との複合化は8割の方が賛成しているよ！



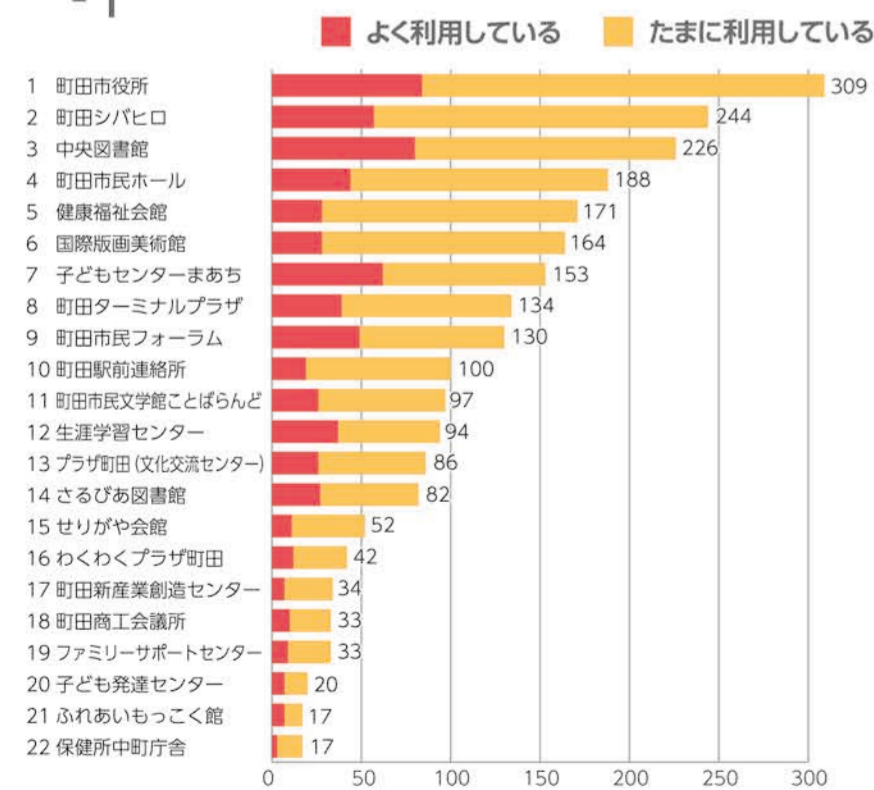
町田駅周辺公共施設の配置図



プチ情報

町田駅周辺公共施設の利用状況

Q 町田駅周辺の公共施設を使っていますか。また、使う頻度はどのくらいですか。(総数=554)



2019年度アンケート結果から
一番よく利用されているのが町田市役所。市民の憩いの場となっている町田シバヒロも2位にランクイン。その他、中央図書館や町田市民ホールがよく利用されているね！

TOPIC 1

健康福祉会館・保健所中町庁舎の集約・建替え検討

町田駅周辺

健康福祉会館と保健所中町庁舎は、同じ保健施設ですが、距離的に近く、両施設はともに老朽化が進んでいます。建替えに向けた検討・調整を2026年度までに行います。町田駅周辺の土地や空間の、高い利用価値を踏まえて、民間事業者とのコラボレーションによる建替えを検討します。また、その他の公共施設についても、公共施設再編計画に基づいて取り組みを進めていきます。

施設紹介



健康福祉会館
健康・保健サービスを推進する施設です。母子保健・成人保健・難病保健・精神保健に関する相談や乳幼児健診、離乳食講習会等各種事業を実施しています。
建築年度：1988
面積：4,429㎡ (4階建て)



保健所中町庁舎
保健衛生施設です。食品衛生・環境衛生・動物愛護に関する各種事業や母子保健・成人保健・難病保健・精神保健に関する相談や結核検診等の事業を実施しています。
建築年度：1973
面積：1,853㎡ (2階建て)

再編計画の内容

建物の建替えの時期を捉えて、健康福祉会館と保健所中町庁舎を集約化する。

2020年度に考えること

3つのことを検討し、「複合化方針」を作成します。

検討① 集約・建替え候補地の検討

2019年度に民間事業者へヒアリングを行いました。集約・建替え候補地は、土地の広さや形、接する道路条件などの理由から、民間とのコラボレーションの可能性があった5か所と仮定します。それぞれのメリット、デメリットについて比較、検討します。

検討② 民間とのコラボレーション方法

町田駅周辺はポテンシャルが高い土地です。市の財政負担の軽減を目指す民間との連携方法を検討します。

検討③ 民間機能の導入

どのような民間サービスが、新たな保健施設と一緒にあると便利になるのか、施設の魅力があがるのかなど、民間機能の導入を検討します。



プチ情報

民間とのコラボレーションの例

民間と一緒にやることで、市民にとって、よりニーズに応える良質なサービスを受けられる可能性があります。民間と公共施設を建替えるには次のような例があります。

例1 定期借地権
市有地を民間事業者に期間を定めて貸し出し、民間事業者が建物や施設を建設・運営を行う方法。

例2 民間施設との合築
市と民間事業者がお金を出し合って共同で建設するパターンと民間施設の一部を市が賃借するパターンがあります。

例3 PFI
公共施設等の設計、建設、維持管理及び運営に民間の資金とノウハウを活用します。民間主導により、効率的かつ効果的な公共サービスの提供を図る方法です。

みんなで考えよう

健康福祉会館はどこにあたり、子どもの健診に来るお母さんたちに便利かな？どんな機能が保健機能と一緒にあったら便利だろう？



TOPIC 2

教育センターの複合化・建替え検討

木曽東

教育センターは、旧忠生第四小学校の校舎を活用しています。1号館は築53年、2号館は築48年が経過し、施設の老朽化が進んでいます。建替えに向けた検討・調整を2026年度までに行います。広い土地の有効活用や他の公共サービスとの複合化を検討します。

施設紹介



教育センター
就学・教育相談や教職員を対象とした研修などを行っています。また、不登校になっている児童・生徒の学校復帰を支援する適応指導教室もあります。震災時の避難施設に指定されています。
建築年度：1号館1967 2号館1972
面積：6,498㎡ (4階建て)

再編計画の内容

利用面積を圧縮し、空いたスペースに現在行っている主な事業と親和性のある他機能を複合化する。複合化する機能がない場合は、大規模改修や建替えの際に施設規模を縮小する。

2020年度に考えること

建替えをするにあたり、2つのことを検討していきます。

検討① 複合化する機能

親和性のある機能(子どもや教育関連施設など)や、町田駅周辺でなくとも提供できる公共サービスの移転先など、複合化する機能を検討します。

検討② 民間とのコラボレーション方法

広い土地を活かして、市の財政負担の軽減を目指した民間との連携方法を検討します。



アクセス
・JR横浜線古淵駅から徒歩約10分
・町田バスセンターからバス約8分「境川団地中央」下車

みんなで考えよう

教育センターには、どんな公共施設を移転したらいいかな？



今後の予定

7/1から

アンケートで複合化に関するご意見を募集します

健康福祉会館・保健所中町庁舎の集約・建替え検討及び教育センターの複合化・建替え検討について、皆さんからのご意見をお聞かせください。

回答方法①

町田市ホームページからアンケート用紙をダウンロードして、回答を記入し、メールで送付してください。
送付先：mcity2980@city.machida.tokyo.jp

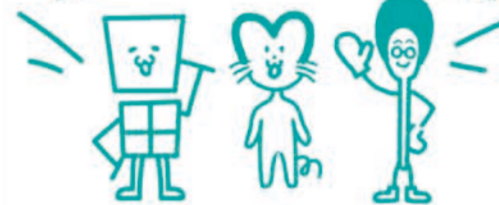
回答方法②

地域センターまつり・まちカフェ! にブースを出展します。ブースにご来場いただき、アンケートに記入していただきます。

公共施設再編キャラクターの名前を募集します!

公共施設の現状や再編の考え方などをわかりやすく知っていただくため、2019年度に、皆さんにお答えいただいたアンケートの集計結果を凝縮した「みんなのアイデアブック」を作成しました。その中に登場する3匹のキャラクターの名前を皆さんから募集します。

みんなで僕たちの名前を考えてね



応募方法

応募方法①：町田市ホームページから応募用紙をダウンロード、またはメール本文に直接記入して送信してください。
メール(mcity2980@city.machida.tokyo.jp)
応募方法②：地域センターまつり・まちカフェ! の出展ブース
応募締切日：11月14日(土)
詳細はホームページへ→

ブース出展予定

日程	イベント名
9月19日	成瀬コミュニティセンターまつり
10月3日	鶴川市民センターまつり
10月10日	なるせ駅前市民センターまつり
10月31日	忠生市民センターまつり
11月7日	つくし野コミュニティセンターまつり
12月6日	市民協働フェスティバルまちカフェ!

*開催の有無は随時町田市ホームページをご確認ください。

2019年度センターまつりの様子

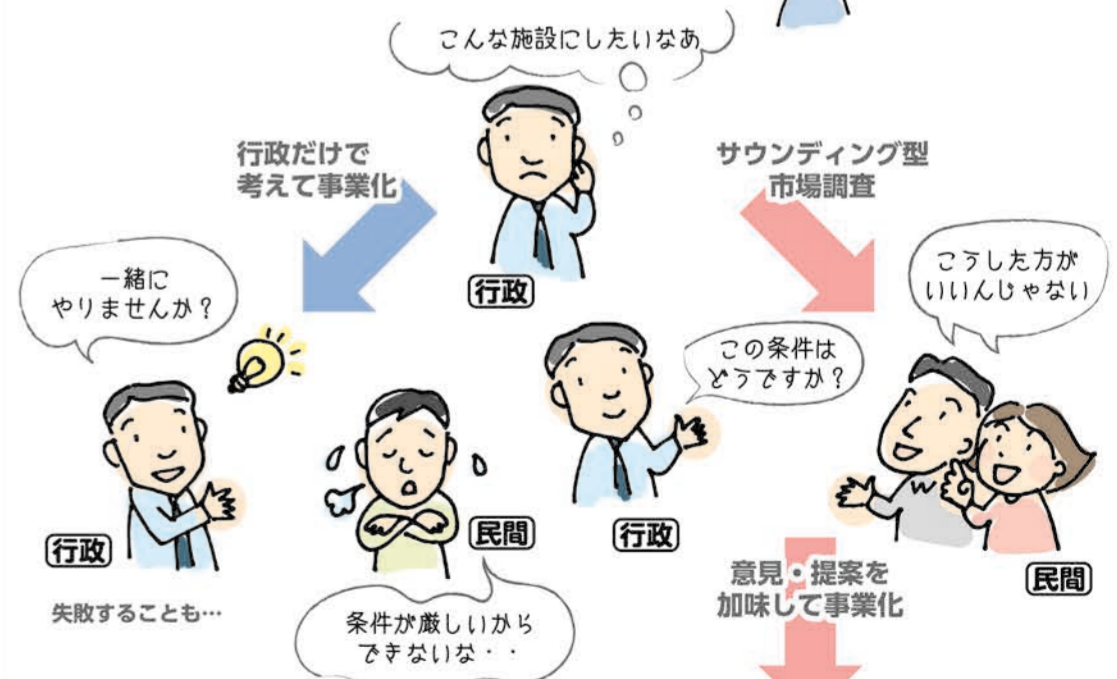
9月頃

公募によるサウンディング型市場調査を行います

サウンディング型市場調査とは?

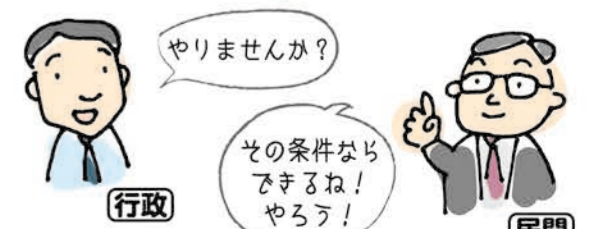
民間事業者と連携した公共施設の整備・運営方法の検討をする際に、案の作成段階から民間事業者の意見・提案を受けたり、民間企業者との対話を通じて市場性の有無を把握することなどを目的とした、マーケティング手法のひとつです。

民間とのコラボレーションを検討するならば、実際に民間事業者側の意見も聞いてみないとな!



メリット

- ・民間事業者と行政との考えのギャップを事前に把握、考慮することで、よりスムーズに事業を進めることができます。
- ・公募で行うことにより、公平性・透明性を確保できます。



② *複合化とは、1つの建物に複数のサービスをまとめることです。これによって、建物の量を減らしつつ、利便性向上や新たな交流の機会を生み出します。

短期再編プログラムの取組状況

2019年度の主な検討の進捗状況をピックアップしてお知らせします。

「みんなで描こう より良いかたち 町田市公共施設再編計画」では、施設を機能毎にA～Zの26分野に分けて、各施設の方向性を示しています。短期再編プログラムとは、直近の9年間（2018～2026年度）に行う取り組みのことです。

A 庁舎・窓口施設等(市民部)

町田市市民センター等の未来ビジョンの策定検討

10年20年先の市民ニーズや環境変化を見据えた市民センター等の機能や量、配置場所について計画を策定予定です。

計画策定にあたり、「町田市市民センター等のあり方検討委員会」を設置し、学識経験のある方、市民センター等を利用・運営する関係団体等の代表の方等の市民委員と共に、検討をしています。

【今後の予定】

2020年度に、あり方検討委員会や市民意見募集等を行い「市民センター等の未来ビジョン」を策定します。

C 図書館(生涯学習部)

「効率的・効果的な図書館サービスのアクションプラン」を策定

「町田市立図書館のあり方見直し方針」に示した課題を解決し、図書館のめざす姿や再編の方向性を具現化するための実行計画として、2020年2月に教育委員会定例会において策定しました。

【アクションプランの主な内容】

- ①図書館サービスの見直し…「めざす姿」実現のためのサービス展開
- ②図書館資源の再配分…人員、施設、サービスへの資源配分の最適化
- ③図書館の運営体制の確立…民間活力の導入、中央図書館の機能強化

D 学校(学校教育部)

「町田市立学校の適正規模・適正配置の基本的な考え方」を策定

2020年1月、町田市立学校適正規模・適正配置等審議会から「町田市立学校の適正規模・適正配置の基本的な考え方」について答申を受けました。この答申に基づき、教育委員会では、町田の未来の子どもたちの視点に立って適正規模・適正配置を推進することを基本的な視点として、以下のとおり「町田市立学校の適正規模・適正配置の基本的な考え方」を決定しました。

【基本的な考え方(抜粋)】

- ・適正規模の基本的な考え方
町田市立学校の適正規模を「1学年あたりの望ましい学級数」と定義し、以下のとおり決定しました。
 - ①小学校・・・3～4学級(1校あたり18～24学級)
 - ②中学校・・・4～6学級(1校あたり12～18学級)

・適正配置の基本的な考え方

- 適正規模の実現を目指した望ましい通学区域の編成と学校配置を進めるとともに、ゆとりのある学校施設環境を整備することが必要であり、学校統廃合を含めた新たな通学区域を検討するための適正配置の基本的な考え方を以下のとおり決定しました。
- ①通学時間及び通学距離、②安全な通学環境、③地域社会との関係、④小・中学校区間の整合、⑤通学区域内における学校の位置

【今後の予定】2020年度に主に「町田市立学校の新たな学校づくりの基本的な考え方」と「町田市立学校の新たな通学区域」で構成される「(仮称)町田市新たな学校づくり推進計画」について審議会に諮問・調査審議し、2021年6月に「(仮称)町田市新たな学校づくり推進計画」を策定予定です。

G 子どもセンター・子どもクラブ(子ども生活部)

子どもクラブ整備を進めています

子どもの居場所や仲間づくりなどの交流の拠点として、子どもクラブの整備を進めています。2019年11月に南町田子どもクラブ「つみき」、2019年12月に小山子どもクラブ「さん」が開館しました。また、2020年2月に「MIWA～GO」(みわ～ご)が完成しました。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、「MIWA～GO」(みわ～ご)の開館日は調整中です。



「つみき」



「さん」



「MIWA～GO」

I 障がい福祉施設等(地域福祉部)

「ひかり療育園の新たな運営体制に関する方針」を策定

これまで市直営で行ってきたひかり療育園の事業に民間活力を導入する新たな運営方針を、2019年9月に策定しました。今後、公募による事業者選定や引継ぎ等を行い、2022年度に新たな運営体制へ移行する予定です。(新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、当初の移行予定を一年度延期しています。)

【方針の主な内容】

- ・ひかり療育園の生活介護事業は民営化し、民間法人へ運営を引き継ぎます。
- ・生活介護以外の事業(訪問・成年後見制度の相談・高次脳機能障がいの相談)については、委託など運営手法を変更します。

R その他高齢者福祉施設等(いきいき生活部)

成瀬あおぞら会館は2019年度をもって閉館

市主催の介護予防教室などの開催や、車いす等の福祉機器の寄付の受付及び貸出しを行う福祉機器リサイクル事業に使用してきましたが、2019年度をもって閉館しました。

J 生涯学習施設(生涯学習部)

陶芸スタジオでの陶芸事業は2019年度をもって終了

陶芸窯の老朽化や利用者の減少にともない、2019年度をもって陶芸講座等を行う陶芸事業を終了しました。今後の陶芸スタジオの活用方法について検討しています。

Z 駐車場・自転車等駐車場(経済観光部)

原町田1丁目駐車場運営コストの削減

2020年4月から、指定管理者を変更しました。利用料金制の導入と24時間運営により、よりコストのかからない運営方法に切り替えました。

X 供給処理施設(環境資源部)

境川クリーンセンターの旧投入施設の解体が完了

1961年から稼働してきたし尿処理施設は老朽化による改修工事を行いました。2019年3月から新たな投入施設が稼働し、旧投入施設は2020年2月に解体が完了しました。

町田市には公共施設が359施設あるよ。それぞれの施設を取り組を進めているんだね。



町田市公共施設マネジメント

検索

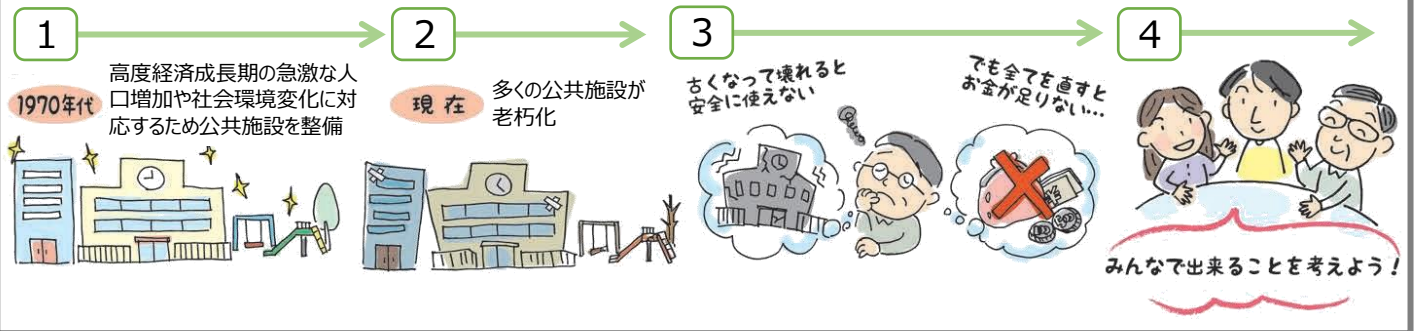
この広報紙は、106,000部作成し、1部あたりの単価は6円です。(職員人件費を含みます。)

公共施設の複合化に関するアンケート（案）

説明を読んで、設問（1）～（3）にお答えください。

公共施設の現状

財政状況が厳しさを増す中でも、必要な公共サービスを維持・向上させていくために、公共施設の再編を進めています。



（1）町田市の公共施設の課題や再編の取組みについて（1つ選択）

町田市が所有する公共施設の多くが老朽化してきているという課題に対し、将来を見据えた公共施設の再編に取組んでいることを、あなたは知っていますか。

- 1) 課題、取組みの両方を知っている
- 2) 課題は知っているが、取組みは知らない
- 3) 知らない

（2）周知・宣伝活動について（1つ選択）

2018年度から、地域のセンターまつりに参加し、PRブースを出展しています。このような活動は、町田市の公共施設に対する取組みを知っていただくための方法として効果があると思いますか。

- 1) とても効果がある
- 2) まあまあ効果がある
- 3) どちらでもない
- 4) あまり効果がない
- 5) 効果がない

【参考】PRブースの内容



（3）意見収集方法について（1つ選択）

町田市の公共施設に対する取組みを進めるうえで、今回のようにアンケートにお答えいただくという手法は有効だと思いますか。

- 1) とても有効である
- 2) まあまあ有効である
- 3) どちらともいえない
- 4) あまり有効ではない
- 5) 有効ではない

【意見収集方法へのご意見】 もっとこうしたい、こんな方法もあるなど、ご意見やご提案があればお書きください。

説明を読んで、設問（４）～（６）にお答えください。

健康福祉会館・保健所中町庁舎の集約・建替え検討

健康福祉会館と保健所中町庁舎は、同じ保健施設ですが、距離的に近く、両施設はともに老朽化が進んでいます。集約・建替えに向けた検討・調整を2026年度までに行います。町田駅周辺の土地や空間の、高い利用価値を踏まえて、民間事業者とのコラボレーションによる建替えを検討します。

2020年度に考える3つのこと

- ① 保健施設を集約して新しく建替える場所
- ② 民間とコラボレーションして整備する方法
- ③ 新しい保健施設に導入ができる民間機能

複合化方針
をつくります



施設紹介

【健康福祉会館】健康・保健サービスを推進する施設です。母子保健・成人保健・難病保健・精神保健に関する相談や乳幼児健診、離乳食講習会等各種事業を実施しています。

【保健所中町庁舎】保健衛生施設です。食品衛生・環境衛生・動物愛護に関する各種事業や母子保健・成人保健・難病保健・精神保健に関する相談や結核検診等の事業を実施しています。

（４）町田駅周辺の利用状況について（1つ選択）

あなたは町田駅周辺にどのくらいの頻度で行きますか？

- | | |
|-----------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 1) 週3回以上 | <input type="checkbox"/> 4) 半年に1回程度 |
| <input type="checkbox"/> 2) 週1回程度 | <input type="checkbox"/> 5) ほぼ行かない |
| <input type="checkbox"/> 3) 月1回程度 | |

（５）健康福祉会館・保健所中町庁舎の集約・建替え候補地について（1つ選択）

地図に示している5か所のうち、どの場所に新しい保健施設があれば良いと思いますか。

（上の地図を参考に選んでください。）

- | |
|---|
| <input type="checkbox"/> 1) A…保健所中町庁舎、さるびあ図書館、子ども発達センターがある土地。土地が大きく、広い道路に面しているが、最も駅から離れている。
(敷地面積 7,523 m ²) |
| <input type="checkbox"/> 2) B…町田シバヒロ（旧市役所）。平坦で大通りに面しているが、小田急町田駅からの道が狭い。
(敷地面積 8,696 m ²) |
| <input type="checkbox"/> 3) C…小田急町田駅から最も近い。（新産業創造センター／敷地面積 2,105 m ² ） |
| <input type="checkbox"/> 4) D…健康福祉会館。現在の乳幼児健診など健康、保健サービスの拠点。広い道路に面している。
(敷地面積 2,583 m ²) |
| <input type="checkbox"/> 5) E…JR 町田駅から近い。ホテルとマンションに囲まれている。土地は一番狭い。
(町田商工会議所／敷地面積 1,334 m ²) |
| <input type="checkbox"/> 6) どこでもよい |
| <input type="checkbox"/> 7) 分からない |
| <input type="checkbox"/> 8) その他 (_____) |

乳幼児健診などに来るお母さんたちは、どこにあたら便利かな？



（６）健康福祉会館・保健所中町庁舎との複合サービス・機能について（最大3つまで選択）

どのような民間サービスが保健施設と一緒にあると便利になったり、施設の魅力が上がると思いますか。

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 1) 展示施設（ギャラリーなど） | <input type="checkbox"/> 8) 宿泊施設（ホテルなど） |
| <input type="checkbox"/> 2) スポーツ施設（ジム・練習場など） | <input type="checkbox"/> 9) 集合住宅（マンションなど） |
| <input type="checkbox"/> 3) 児童関連施設（保育所・キッズスペースなど） | <input type="checkbox"/> 10) 日用品店（スーパー・コンビニなど） |
| <input type="checkbox"/> 4) 高齢者関連施設 | <input type="checkbox"/> 11) 飲食店 |
| <input type="checkbox"/> 5) 医療施設（病院・クリニックなど） | <input type="checkbox"/> 12) 物販店（量販店・ショッピングセンターなど） |
| <input type="checkbox"/> 6) 事務所（企業オフィス・ワークスペースなど） | <input type="checkbox"/> 13) アミューズメント施設（カラオケ・ゲームセンターなど） |
| <input type="checkbox"/> 7) 研究施設（企業や大学の研究所など） | <input type="checkbox"/> 14) その他 (_____) |

複合施設イメージ図

例えば、7階建てのビル

7階	民間サービス
6階	
5階	民間サービス
4階	
3階	保健施設
2階	
1階	民間サービス

説明を読んで、設問（7）～（8）にお答えください。

教育センターの複合化・建替え検討

教育センターは、旧忠生第四小学校の校舎を活用しています。1号館は築53年、2号館は築48年が経過し、施設の老朽化が進んでいます。建替えに向けた検討・調整を2026年度までに行います。広い土地の有効活用や他の公共サービスとの複合化を検討します。

2020年度に考える2つのこと

- ①複合化する機能
親和性のある公共サービスや町田駅周辺ではなくとも提供できる公共サービスなど。
- ②民間とコラボレーションして整備する方法
広い土地を活かして、市の財政負担の軽減を目指す。



施設紹介

就学・教育相談や教職員を対象とした研修などを行っています。また、不登校になっている児童・生徒の学校復帰を支援する適応指導教室もあります。震災時の避難施設に指定されています。

所在地：町田市木曽東 3-1-3
アクセス：JR 横浜線「古淵駅」から徒歩約 10 分
町田バスセンターからバス約 8 分「境川団地中央」下車

（7）町田駅周辺から移転してもよい公共サービスについて（あてはまるもの全て）

町田駅周辺の施設で提供している公共サービスの一部を、教育センターに複合化し、施設の総量をコンパクトにしていくことを考えています。そこで、必ずしも、交通の利便性の良い町田駅周辺でなくてもよい公共サービスは、どのようなサービスですか？

- 1) マイナンバーカードなどを用いてインターネットから利用ができ、施設に直接行く必要がないサービス
- 2) 年齢制限やサービスを受給する条件があるなど、利用者が限られているサービス
- 3) 誰でも利用できるが、日常生活であまり利用しないサービス
- 4) 自動車で訪れる人が多く、駅前の狭い土地ではなく駐車場がとれる広い土地にあったほうがよいサービス
- 5) 利用者が増えている、事務所が分散しているなどの理由から、新たに広い土地が必要となっているサービス
- 6) バリアフリー対応など、今の施設にはない新たな設備が必要なサービス
- 7) その他（_____）

（8）民間と連携して教育センターを建替えることについて（1つ選択）

民間と連携して教育センターを建替えることを検討しています。そこで、13,809 m²ある広大な土地の一部を民間に貸し出し、賃借料を建替え資金に充当することについて、あなたはどのように考えますか。

- 1) したほうが良いと思う
- 2) どちらかといえばしたほうが良いと思う
- 3) どちらかといえばしないほうが良いと思う
- 4) しないほうが良い
- 5) 分からない
- 6) その他（_____）

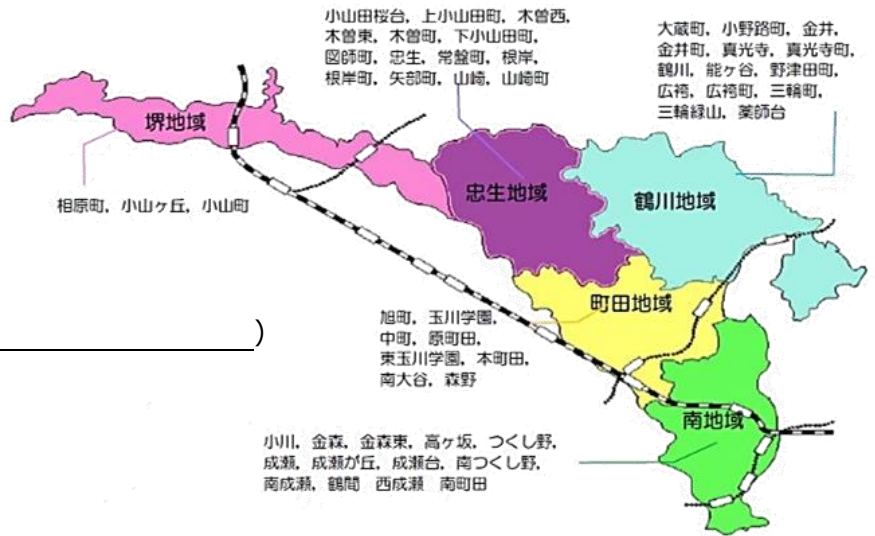
（9）ご意見自由記入

公共施設の複合化についてご意見があれば記入してください。

(10) 回答していただくあなた自身について

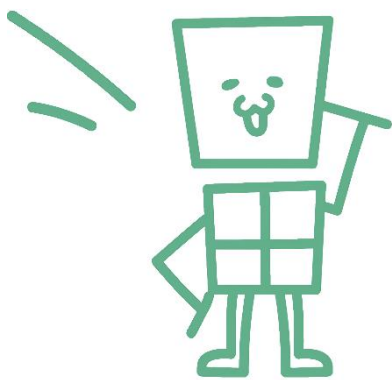
- 性別 1) 男性 2) 女性
- 年齢 1) 19歳以下 2) 20代 3) 30代 4) 40代
 5) 50代 6) 60代 7) 70歳以上

- お住まいの地域
 1) 堺地域
 2) 忠生地域
 3) 鶴川地域
 4) 町田地域
 5) 南地域
 6) 市外 (市町村名: _____)



公共施設見直し(再編)キャラクターの名前を募集!

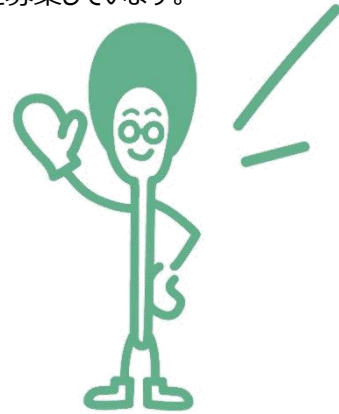
地域のセンターまつりや「まちカフェ!」などでいただいたご意見やアイデアを凝縮した「みんなのアイデアブック—町田市の公共施設再編について—」を発行しました。この中で登場した3匹のキャラクターの名前を募集しています。



ロボットのなまえ



ねこのなまえ



まっちぼうのなまえ

★★★ キャラクター誕生のひみつ ★★★



ロボットをよーくみると、漢字の町田(まちだ)になっているよ。



ねこの頭を見てごらん。英語のMachida(まちだ)のMが見えてくるよ。



まちだの“まち”→まっち →まっちぼう! ダジャレだね。

～ご協力ありがとうございました～